

シンポジウム 2

「軟性内視鏡による切開・切除・縫合手技（ビデオ）」

司会 浦岡 俊夫（群馬大学大学院医学系研究科消化器・肝臓内科）
石原 立（大阪国際がんセンター）

軟性内視鏡による消化管疾患に対する低侵襲治療の開発・発展は著しく、腫瘍の切除から消化管機能障害の治療まで広範囲に及ぶ。一方で、関連する内視鏡機器およびデバイスの開発・改良なしでは革新的な手技は発展しない。本シンポジウムでは、消化管疾患への新たな内視鏡治療手技や工夫に加え、内視鏡機器およびデバイスに関しても多方面から演題を募集し、当日は、各施設からビデオを用いながら目指すべき低侵襲治療について議論を行いたい。